

令和5年度 第2回 学校運営協議会（記録）

1 日時 令和5年11月8日（水）15：00～17：05

2 会場 宇部中央高等学校 会議室

3 出席者

- ・学校運営協議会委員9名(13人中)
- ・学校関係者：全日制教頭、定時制教頭、事務長、地域連携担当(2)、CS サポーター
- ・県関係者1名

4 進行状況・記録

○校長挨拶

○会長挨拶

○議事（会長が議長、副会長が副議長となり進行）

○全日制学校評価に係る進捗状況について説明（全日制教頭）

○定時制学校評価に係る進捗状況について説明（定時制教頭）

○今年度の取組について説明（全日制教頭・地域連携担当教員）

- ・生徒が主役の学校行事
- ・やまぐち型社会連携教育推進事業の進捗状況
- ・地域連携活動
- ・質疑応答
 - ・昨年度は地域猫についての活動を行っている生徒がいた。今年度は行っていないのか。
→今年度、同じようなテーマに取り組んでいる生徒がいる。昨年度そのテーマに関しての探究活動を行い、大学でもその活動に取り組みたいと励む生徒がいる。「総合的な探究の時間」での活動が生徒の進路実現にもつながっている。
 - ・地域のイベントに部活動として参加してくれる部もあるので、期待している。
 - ・地域連携に関して、中学校と高校が連携する例があるが、小学校も巻き込んだ連携を行い、輪を広げることができるとより良い。
 - ・小学校のイベントに宇部中央高校の生徒が参加してくれることがある。小学生にとっても高校生と接する機会があるのは良いことである。

○綱紀保持に関する取組の報告（校長）

○熟議「中学生に届く『宇部中央高校のスクール・ポリシー』について考える」

5グループにわかれて熟議を実施

- ・宇部中央高校のスクール・ポリシーに関して3色の付箋（赤：変更 青：追加 黄：その他）を用いて生徒・教員・委員の立場からそれぞれ意見を述べ合う。
- ・集まった意見をもとに、12月に向けてより良いスクール・ポリシーを作成する。
- ・感想、振り返り

生徒代表：学校生活を過ごす中で学校の魅力やモットーについて考える機会がなかった
たので良い機会になった。

教員代表：生徒にとって良い経験となった。それぞれの視点ならではの意見が出て、
活発な話し合いを行うことができた。

委員代表：教育用語が多く使われていると感じた。より多くの人に伝わるスクール・
ポリシーである必要があるため、この話し合いを基により良いスクール・
ポリシーができると良いと考える。

○閉会行事 校長挨拶